ちいきの健康　未来につながるこくほ

第62巻 第5号

ふくしまの国保

福島県国民健康保険団体連合会広報誌　平成26年１月31日発行　http://www.fukushima-kokuho.jp/

5

◆年頭のご挨拶

●医療費適正化に向けた取り組み

保険者から期待される保健事業を目指して

福島県国民健康保険団体連合会

ふくしまの国保 第62巻 第5号
5

Contents

P01 年頭のあいさつ
鈴木　義孝（福島県国民健康保険団体連合会会長）
佐藤　雄平（福島県知事）
岡崎　誠也（国民健康保険中央会会長）
P04 ウチの特定健診日誌
磐梯町　“顔見知りが生みだす活力ある保健活動”
P08 国保連合会の医療費適正化対策
～保険者から期待される保健事業を目指して～
P12 Ｄｒ.の健康メモ
鈴木　史彦（福島県国保診療報酬審査委員会委員）
P14 My Essay ～ 国保の仲間たち ～
菅野智恵子（桑折町　保健福祉課国保係）
我妻　　梢（古殿町　住民税務課国民健康保険係）
P16 ラジオ放送のお知らせ
P17 DATA LAND
P22 連合会日誌
P24 連合会行事予定・特定健診速報値・編集後記

表紙のことば

●スノーバトル inきたあいづ2014
会津若松市

１月26日、会津若松市ほたるの森公園で開かれたスノーバトルInきたあいづ。相手陣地の的めがけて雪球を投げ、旗をとりあうルールです。雪球を投げ勝ち関のあがる雪上はスノーバトルの名に負けぬ熱い戦場へと化していました。

福島の国保　検索

本会ホームページに「ふくしまの広報」を公開しています。
本誌バックナンバーの閲覧のほか、テレビCMや新聞広報など、本会が実施している広報事業を紹介しています。

福島県国保連合会事業振興課企画係
TEL 024-523-2752
FAX 024-523-2704
E-Mail：jigyou@fukushima-kokuho.jp
http://www.fukushima-kokuho.jp/

■発行所　福島県国民健康保険団体連合会
福島県福島市中町3番7号
TEL 024-523-2700㈹　FAX 024-524-1041㈹
■印刷所　株式会社　阿部紙工
福島市庄野字柿場1-11

保険者にとって効果的、効率的な支援に向けて

福島県国民健康保険団体連合会会長　鈴木　義孝

新しい年を迎え一言ご挨拶を申し上げます。

平素より皆様方には、国民健康保険事業の発展と健全な運営にご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、高齢化の伸展による医療費の伸びに加え、長引く景気低迷により低所得者が増加し、国保税の収納も伸び悩んでおり、国保財政は大変厳しい状況が続いております。

こうした中、国においては、医療、介護など社会保障全般にわたる改革の方向性と実施時期を定めた「プログラム法案」が昨年12月5日に可決、成立いたしました。国保の保険者運営等のあり方については、構造的な問題を解決することとした上で、国保の財政運営を始めとして都道府県が担うことを基本としつつ、県と市町村で適切な役割分担をするために必要な措置を平成29年度までを目途に講ずることとされました。

また、それに先立ち平成24年の法改正により、平成27年4月からこれまで30万円以上のレセプトを対象に行われてきた保険財政共同安定化事業をすべてのレセプトを対象とすることとなり、実質的財政運営の広域化が図られることとなります。

本会としても、こうした大きな制度改正に向けて、これまでに蓄積したデータやノウハウを活用し、国民健康保険事業の更なる発展のために組織を挙げた最大限の対応が求められております。

また、一方では、現在実施している業務をさらに前進させ保険者の期待に応えなければなりません。

すでに、本会においては、医療費適正化対策を継続して実施し、更なる査定率の向上に向けて医科レセプトと調剤レセプトの突合点検の強化、各種システム（外付け）の導入や、審査委員の増員を図るなど審査の充実・強化を実施しました。保険者が行うレセプト点検事務に対しても、職員の派遣等による助言・共助を行い保険者のレセプト点検事務支援をしております。

今後はさらに、保険者支援の強化を図るため、昨年、保険者訪問を実施した保健事業調査に基づき、国保中央会が進めている「国保データベースシステム」等を活用しながら、質の高いより効果的な保健事業を支援していきます。また、本会が保有する医療・介護・健診データの加工、分析などを通したさまざまな情報提供により、地域包括ケアシステムの構築に向けて他職種の団体同士が協議、連携できる方策を検討していきます。

そして、国保保険者が都道府県に移行する際には、これらの業務を通して保険者に混乱を招くことがないようしっかりとした事業運営を実施して参ります。

最後に本会としましても、国の動向を注視しながら保険者にとって効果的、効率的な事業運営を行い、どのような支援を行えば保険者にとって有効であるかを常に念頭に置き事業を運営して参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成26年　元旦

復興の流れをより確かに

福島県知事　佐藤　雄平

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から３度目の新年を迎えました。

本県は、いまだ14万人の県民の皆さんが避難を余儀なくされているなど、厳しい状況が続いております。

県では、2020年を目標年次に定めた新たな総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、「活力」「安全・安心」「思いやり」の３つの柱の下、一日も早く復興を成し遂げようと、環境の回復や健康を守る取り組みなどの重点プロジェクトを全力で推進してまいりました。

県民の皆さんと一丸となって取り組んできたことにより、本県は着実に元気を取り戻してまいりました。観光地やイベント会場は多くの方でにぎわうようになり、子どもたちの元気な声がたくさん聞こえるようになってきました。

広野町や田村市都路地区の米や伊達地方のあんぽ柿の３年ぶりの出荷再開、相馬地区に続くいわき地区での漁業の試験操業開始、県営復興公営住宅の着工など、復興の動きが目に見えるようになってきております。

さらに、広野・楢葉沖の浮体式洋上風力発電の運転開始、福島空港メガソーラーの着工など、本県が目指す再生可能エネルギー先駆けの地のシンボルとなる取り組みも始まっています。

これまでの成果が形となって現れてきた、この復興への流れをより大きく、確かなものにしていかなければなりません。

そのため、まず、最大の課題である避難地域の復興に力を注ぎ、帰還に向けた対策と生活再建・安定のための対策を両輪で進めてまいります。

また、今年は、復興公営住宅の入居開始、環境創造センターや国際医療科学センターを始めとする各種拠点施設の着工、産業技術総合研究所の福島再生可能エネルギー研究所の開所など、これまでの取り組みがそれぞれ新たな段階に入ります。

さらに、この春のプレデスティネーションキャンペーンや、６月の日本陸上競技選手権大会を始めとする全国規模の大会、国際会議が今後も数多く開催されます。こうした機会を逃すことなく、本県の魅力と今を国内外にしっかりと発信してまいりたいと考えております。多くの方々に、福島に来て、見て、魅力を感じていただき、風評の払拭に全力で取り組んでまいります。

こうした、それぞれの局面を通して、本県の復興の新たな展開を見せてまいります。

「ふくしまから　はじめよう。」の合言葉の下、県民生活の安全・安心の確保、農林水産業の再生、産業の振興、インフラの復旧など、山積する課題を一つ一つ解決し、県民の皆さんに復興の進展をより実感していただけるよう「新生ふくしま」の形をお示ししてまいります。

県民の皆さんの御理解と御協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成26年　元旦

年頭のご挨拶

国民健康保険中央会会長　岡﨑　誠也

新年あけましておめでとうございます。

平成26年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

社会保障制度改革国民会議の報告書を踏まえたプログラム法案が、昨年12月５日に成立し、国保運営の都道府県化を始めとする重要な医療保険制度改革が平成29年度までに実施されることとなりました。この一連の改革については、国民皆保険制度導入以来の大改革であり、我々が長年主張しております医療保険制度の一本化への大いなる一歩とも言えます。

今後、国保制度の基盤強化に関する国と地方の協議において、国保の構造問題の分析とその解決策や、都道府県と市町村の役割分担等の議論が行われ、本年７月に中間とりまとめがなされることになっておりますが、地方自治体の意見や要望を十分に踏まえ、将来に渡って給付の平等と負担の公平のもと国民皆保険制度を堅持できる議論がなされることを強く期待いたします。

我々国保関係者としましては、国保の構造問題を解決し、財政の健全化を図るには、更なる財源確保が必要であることから、後期高齢者支援金における全面総報酬割導入で生み出される財源については、国保に優先的に充てることを強く働きかけてまいらねばならないと考えております。

一方、規制改革会議において、審査支払機関の役割分担の見直しや保険者による直接審査の推進について、昨年から議論が行われておりますが、我々国保中央会・国保連合会では、より一層の審査の質の向上と事務の効率化、国保データベース（ＫＤＢ）システムを活用した保健事業の推進による医療費適正化等に取り組んでいく所存であります。

本会としましては、このような国の動向を注視しながら、本年も引き続き、全国市長会や全国町村会をはじめとする地方関係団体や都道府県国保連合会と共に、最善の努力を続けて参りますので、皆様方からの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、明るく実り多き一年となることを心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成26年　元旦

ウチの特定健診日誌

Bandai town

file 3

磐梯町編

顔見知りが生みだす活力ある保健活動

慧日寺金堂

磐梯町　町民課

今回取材を行ったのは"温もりと活力あるまちづくり"がキャッチフレーズの磐梯町。言葉どおり温もりあふれる２人の担当者が特定健康診査・特定保健指導への取組みを語ってくれた。第１期の保健指導率では平成20年度から３年で約40％も増加【表１】、第２期においても健康増進計画とリンクさせ、特定健診受診率をあえて70％と高く設定し、ますます活力があふれている磐梯町の取組みを紹介する。

【磐梯町　第１期特定健診の概況】
※20～23年度分まで

■特定健診

	対象者	受診者	終了率
20年度	721人	451人	62.55%
21年度	713人	453人	63.53%
22年度	712人	453人	63.62%
23年度	739人	466人	63.06%

	特定健診受診者数評価対象者	メタボ該当者	メタボ予備群該当者
20年度	451人	66人	83人
21年度	453人	86人	67人
22年度	453人	91人	61人
23年度	466人	87人	57人

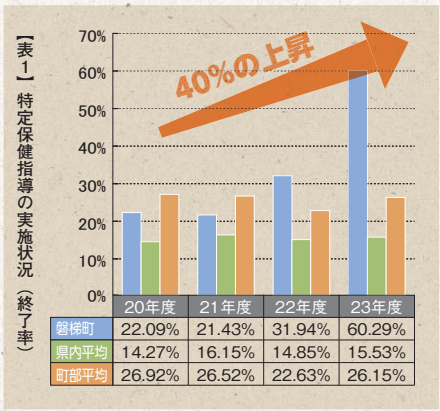
■動機付け支援

	対象者	利用者	終了者
20年度	59人	15人 25.42%	15人 100%
21年度	57人	16人 28.07%	15人 93.75%
22年度	41人	16人 39.02%	16人 100%
23年度	62人	22人 35.48%	22人 100%

■積極的支援

	対象者	利用者	終了者
20年度	27人	5人 18.52%	4人 80%
21年度	27人	3人 11.11%	3人 100%
22年度	31人	7人 22.58%	7人 100%
23年度	25人	13人 52%	10人 76.92%

*「平成21年度版·24年度版 国民健康保険のすがた」より抜粋



試行錯誤の第１期、足を運んで関係築く

ー第1期の特定健康診査・特定保健指導を振り返ってみてなにか感じていることはありますかー

大森直美保健師（以下大森保健師）：第１期は初年度から手探りの状態でしたから、国の目標数値を達成するためだけに必死になっていました。中身が伴っていたかと、そこが反省点になっています。

ー手探りの5年間では気づくことも多かったですかー

小林諒主事（以下小林主事）：そうですね、特定健診では病院で受けているという理由から断る住民もいましたが、保健指導を受けられないことがもったいないなと思っています。私もどちらかといえば健診結果が届いてもよく見てい

大森直美 保健師

小林 諒 主事

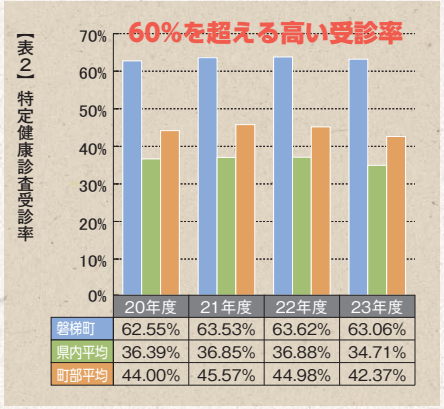
なかったのですが、人から説明を受けると自覚が芽生え、意識が変わりましたから。

大森保健師：保健指導でも1,2年目は思うように人が集まらず、実際に住民のもとへ足を運ぶ訪問の重要さを痛感しました。ただ、私が逆の立場だったら急に訪問されたら嫌だなという思いがあり、必ず連絡をとってから行くようにしています。やはり連絡も無く訪問されて「あれ食うなこれ食うな」と言われたら嫌ですからね。

ー連絡をとるにあたって断られることも多いですかー

大森保健師：もちろんありますね。でもそこは顔見知りという強みがあります。「おれはいいから」なんて言う住民でも顔見知りだというだけで訪問を受けいれてくれることも多いんです。

小林主事：健診時の様子をみていて大森さんと住民との関わりはすごく深いことを感じています。



取材中、担当就任後自らの減量にも成功している小林主事も話題に

磐梯山慧日寺資料館第一展示室2

受診率70%めざす、磐梯町が考える取り組むべき課題

－第２期計画では国の目標値をそのまま設定する市町村が多いなか、磐梯町は受診率70％を掲げています。あえて国の目標数値（60％）を上回る設定値にしたのはなぜですか－

大森保健師：私も後から高かったかなと思いました(笑)。でも磐梯町はもともと受診率が高いこともありましたし(P5表1参照)。それを維持しながら未受診者に働きかけて、より自分の健康について知ってもらいたかったからです。

－受診率70％の達成に向けてなにか考えている案があれば伺いたいのですが－

大森保健師：病院で健診を受けたとしても結果だけでも教えてほしいというのが本音です。そういう意味では医療センターとの連携も健康増進に向けた一つの案だと思います。

小林主事：病院の健診だけにとどまらず、特定健診も受けてもらえるように医療機関からも進言していただければと思っています。

大森保健師：未受診者の方って毎年同じ顔ぶれになってしまいがちです。そういう方にチラシや通知で周知するにも限界を感じていますから、実際に顔合わせる個別の対応は今後重要視していきたいです。

小林主事：ただ受けましょうというだけでは足りないのだと思います。受けることがなぜ大切なのかを住民の方に直接説明できる機会があれば「そんなこと言ってたな」と後になって本人が気づくひとつのポイントになると思うんです。

－受診率同様、保健指導率でも目標値を高く設定（60％）されていますね－

大森保健師：結局うちの町は市規模と比べて人口が少ないですから、保健指導の対象者になる方って積極的・動機付支援あわせても80人くらい。その60％となると50人くらいですから、それなら可能ではないかと自信がもてるんです。

－人口の規模が少ないとはいえ、どの市町村も変わらず大変だと思います。その中でも目標を高く設定できる活力はどこから生まれるのですか－

大森保健師：先ほども言いましたがやはり住民と顔見知りであるということが強みなのだと思います。この人はこういう人だから今回違ったアプローチをすれば受診してもらえるかもしれない、とイメージできることで高い目標値にチャレンジできるんじゃないかと思います。

磐梯町が高い目標を達成するためのキーワード

○医療機関との連携
○直接顔をあわせられる関係性

まちの健康増進につながる相乗効果

－国保担当者と保健師、庁舎が離れているとなかなか連携もとりづらい中で２人はよくコミュニケーションがとれているように感じますが－

大森保健師：国保連合会事業の医療費適正化モデル事業に参加したのも連携がとれているきっかけのひとつですね。医療費の分析をなかなかできていなかったことが参加の理由でしたが、実際に参加して国保担当者と情報を共有できたことは大きな収穫でした。

小林主事：わからないことが多いからたくさん聞いているだけですけどね(笑)。

大森保健師：やはり話さないといい仕事はできないし、意外とこちらもわかっていなくて後から調べたり(笑)データを率先してまとめてくれたりと、国保担当者のモチベーションが高いと私たち保健師も引っ張られていきます。

小林主事：医療費や受診率・指導率と成果を数値でみることができますから。何年担当でいられるかはわからないですが少しでもよりよい数値をめざしていきたいです。

大森保健師：そこを求めているのは意外と保健師だけではないのですね。

取材中、もしも人口の多い町の保健師だったら同じく活動できるか聞いてみた。「実は人見知りだからできないと思います（笑）」と答えてくれた大森保健師。人見知りの保健師が住民と顔見知りになるためには何度も顔を合わせる機会が必要であり、住民と築いてきた深い関係はただの“顔見知り”ではないことが取材の中で伺えた。その機会を多くもてるよう事務量をフォローしているのが国保担当の小林主事。保健師が“顔見知り“を増やせることは考え、想える住民が増えること。２人の連携が第２期特定健診・保健指導の高い目標値達成、ひいては町の健康増進に繋がっている。

磐梯町マスコットキャラクターが誕生しました!

これから町のPRのために活躍していきたい思っています。どうぞ皆さんの応援をよろしくお願いします。

磐梯町　町民課のみなさん

医療費適正化に向けた取り組み

保険者から期待される保健事業を目指して

本会では将来的な医療費抑制につながる効果的な保健事業を展開するために、地域や個々の被保険者の特性を踏まえた保健事業を推進していくことが急務であると考えている。

そこで、新たな保健事業の展開に向けて、保険者の保健活動の実態及び課題・要望を把握するため保険者訪問を実施した。

◆訪　問　期　間：平成25年８月19日～10月９日
◆訪問保険者数：57市町村（※２町はアンケート調査で対応）
◆訪 問 対 象 者：保健師等衛生担当者が中心

▼訪問から見えてきた保健活動の現状と課題

保健活動の現状

- ●各市町村保健師の業務範囲は、「母子保健」「健康増進」「介護予防」等多岐にわたり多くの事業を抱えている。
- ●業務量に見合う体制となっていないため、各業務の優先順位が必ずあるべき姿となっていない。
- ●国保係と保健師との連携に課題があり、情報等が共有できていない保険者もある。

保健活動の課題

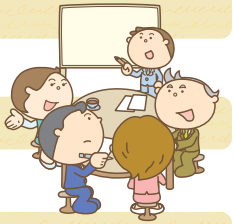
- ●保健師の専門性を最大限に活かせるための業務整理
- ●効果的な保健活動を実施するための優先順位の検討と情報の整理
- ●地域の健康課題の把握、さらに庁内部門間において健康課題を共有するための連携・協力できる体制整備

▼本会に求められているもの

保険者訪問から、以上のような現状と課題が見えてきた。それらを踏まえ本会に求められているものは何か?!　以下の４つに分類される。

医療費分析等

- ●レセプト等のデータ分析に基づいた具体的な健康課題の提示と対策等の提言
- ●レセプト・健診等情報を活用した医療費分析の実施



事業評価

- ●保健事業実施後の事業評価と事業の効果検証

学習会等

- ●各地区単位に先駆的な取り組み事例の紹介、スキルアップ等の学習会等の開催

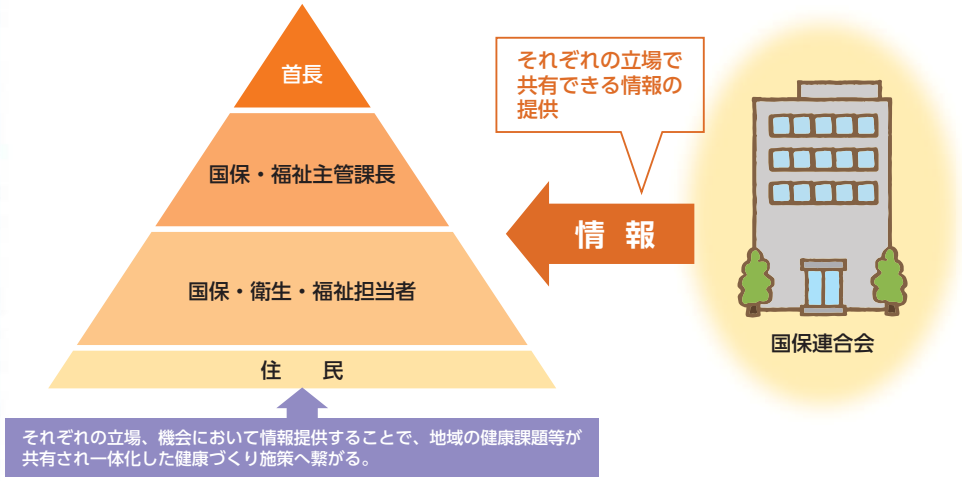
システム支援等

- ●保険者ニーズに合わせた迅速・柔軟な情報提供
- ●各種システムの操作方法等の支援
- ●特定健診等業務に係る人的支援

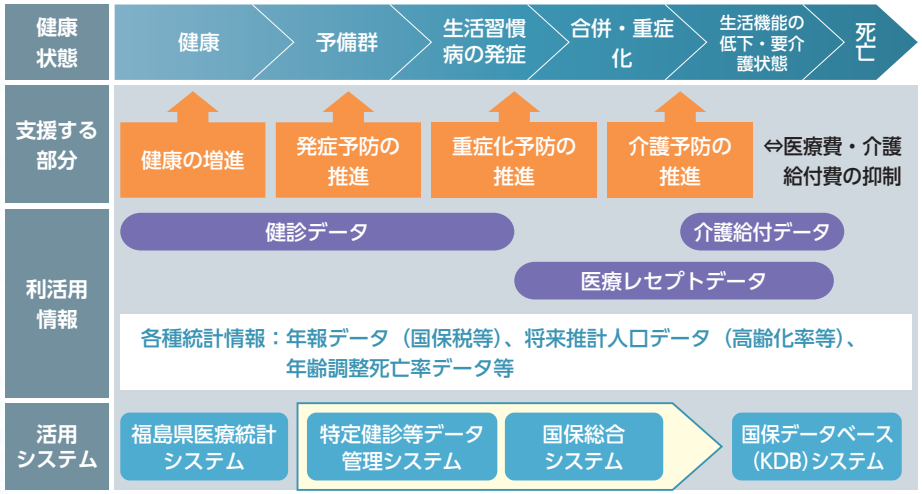
▼保健事業の鍵となる情報提供

保健事業の支援をするうえで、情報提供、情報の利活用が必要となってくる。それらを、本会としてどのように情報提供し、情報を利活用するかをイメージとして示す。

[情報提供]



[情報利活用]



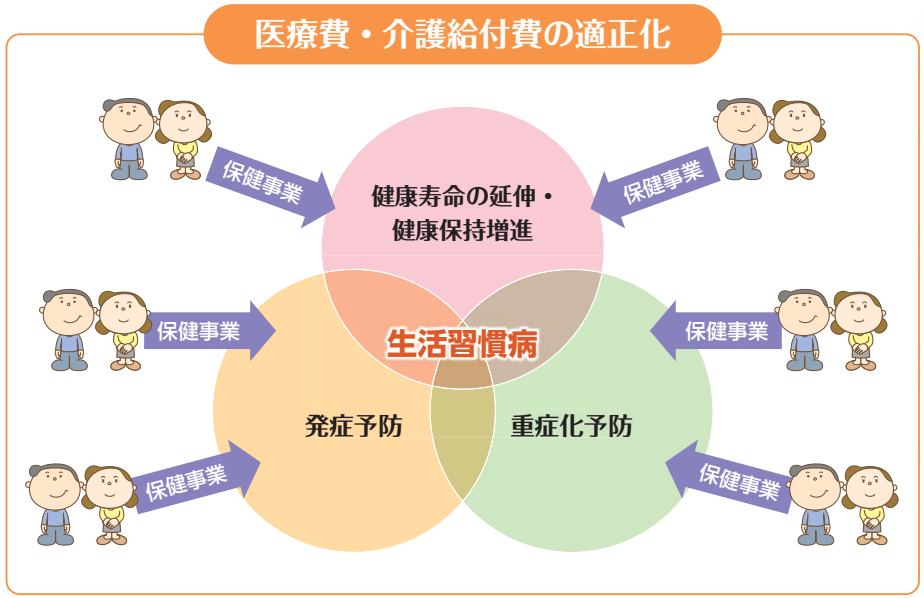
システム等を活用しながら、それぞれの健康状態にあった支援を行う。

▼国保連合会における保健事業の目標

それらを実施していくためには、どのようにしていくのか?!

まずは、目標を掲げてみた！

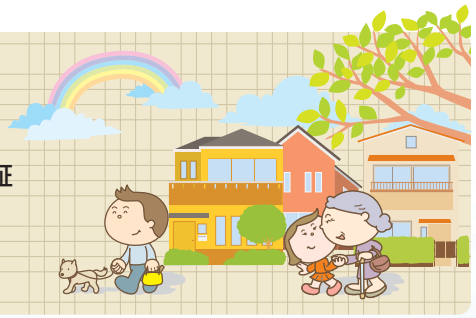
目標は、健康寿命の延伸や健康保持増進、生活習慣病予防の推進を目的に、本会が保有するデータの活用により、地域や住民の特性を踏まえた効果的な保健事業を展開することで、医療費・介護給付費の適正化を図る。



▼目標に向けた取り組み

連合会の特性を生かし、各保険者に合わせた保健事業の「サポート」「コーディネート」の役割を担い、効果的な保健事業を協働で行う。

- 実態把握のためのデータ分析
- 特定健診、特定保健指導の強化
- 保健事業の事業評価及び効果検証
- 情報提供の充実強化
- 連携体制の強化促進



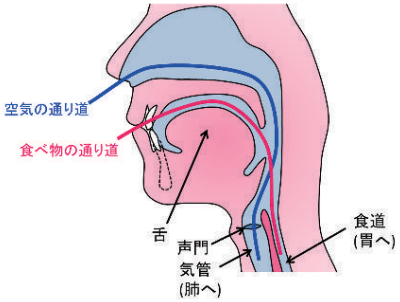
Dr.の健康メモ

摂食・嚥下障害について

福島県国保診療報酬審査委員会委員
鈴木史彦（すずきふみひこ）

危険と“隣り合わせ”の障害

摂食・嚥下障害という言葉を聞いたことがありますか？摂食とは食べ物を口に運んで飲み込める状態にすること、嚥下とはゴクンと胃の方に送り込むことです。これらの過程に問題があると、食べ物が噛めない、飲み込めない、むせてしまうといった問題が生じます。きちんと飲み込めないと水分や栄養が体に入っていきませんので、脱水や低栄養になります。また、喉の部分では空気の通り道と食べ物の通り道が交差しているため、神経と筋肉の協調が悪くなると水や食べ物が誤って肺の方に入ってしまい、肺炎や窒息を起こすこともあります。



摂食・嚥下障害の原因となる病気

摂食・嚥下障害は舌や喉の神経や筋肉に問題があると生じやすくなります。原因となる主な病気には脳卒中、パーキンソン病、筋ジストロフィー、舌や口の中の癌等があります。また、認知症が進行して自分で食べなくなったり、高齢による筋力の低下でも摂食・嚥下障害が見られるようになります。

こんな症状が見られたら要注意

摂食・嚥下障害は自覚症状がないこともあります。そのため、様々な症状から積極的に障害を見つけ出すことも必要です。まず、摂食に関する症状を列挙します。

① 口の中が乾燥する
② 食べ物が噛みづらい
③ 食べ物が口からこぼれる
④ 飲み込みづらい
⑤ 口の内に食物が残る

続いて、嚥下に関する症状を列挙します。

① 食事中や食後にむせや咳が出る
② 食事中や食後にうがいしているようなガラガラ声に変わる
③ 食べ物が喉に残った感じがする
④ 痰が増えた
⑤ 発熱を繰り返す
⑥ 夜間に咳込む

その他、自発的に食べない、食事時間が以前より増えた、体重が以前より減ったといった症状が見られることもあります。

摂食・嚥下障害の治療に関係する様々な職種

摂食・嚥下障害の状態によって、専門的な知識や技術を持った人たちが関与します。原因になっている病気には、医師や看護師が対応します。リハビリが必要な場合には、言葉や飲み込みを担当する言語聴覚士、体の動きや呼吸のリハビリを担当する理学療法士、食事動作等の機能的な動きを担当する作業療法士が対応します。栄養や飲み込みやすい形態の食べ物については管理栄養士が対応します。入れ歯や飲み込みを補う装置が必要なときには歯科医師が対応します。肺炎の予防には専門的な口の中のケアが必要となるため、歯科衛生士が対応します（詳しくは後述します）。このように、多くの職種が一つのチームとして摂食・嚥下障害の治療にあたっています。

誤嚥（ごえん）性肺炎予防のための“口腔（こうくう）のケア”

人の口の中からは約400種類の細菌が見つかっています。これらの細菌が摂食・嚥下障害によって肺の方に入ってしまうと、肺炎になることがあります。これを誤嚥性肺炎と言います。65歳以上の高齢者では、死因の３番目が肺炎です。口の中を専門的にケアすることにより、肺炎の発症率を減らすことができます。特に、要支援・要介護の高齢者では、自分で口の中を磨いただけでは不十分なことが多いため、専門的に歯や歯ぐき、入れ歯、舌といった口の中の専門的なケアにより、細菌を減らすことが大切です。

仕事以外も全力投球！

桑折町
菅野智恵子（かんのちえこ）
Chieko Kanno

■所属課・係
保健福祉課　国保係
■主な業務（担当年数）
国保資格・給付（１年３カ月）
■趣味・特技
吹奏楽（演奏会の後の打ち上げメイン）
ゆるきゃらグッズ集め

こんにちは。桑折町の菅野です。
平成24年11月に採用され、保健福祉課に配属になりました。国保係はたった３人ですが、やさしい係長、先輩にご指導いただきながら頑張っております。

これといって自慢できるような趣味はなく、何となく続けている吹奏楽も、楽器を演奏することより演奏会後の打ち上げのために続けています。そんな毎日ですが、昨年の11月は活動的でした。

職場の組合の記念式典が11月23日に執り行われることになり、その中で行うアトラクション参加者の募集がありました。採用されてちょうど一年、そして10年に一度の式典という記念の場なので、「参加したい！」と思いカレンダーを確認すると、ちょうどその時期に『自治研修センター』という文字が。

新規採用職員の研修が11月18日～22日、式典が23日。最後の１週間練習に参加できない状況でしたが、取りまとめの担当にＯＫをもらい参加させてもらえることになりました。

演目は、大ヒットした朝ドラの挿入歌『潮騒のメモリー』。そして、ヲタ芸と呼ばれる激しいダンスです。メンバーは、ダンスが得意だったり苦手だったりの８名、今回のアトラクションのプロデューサー１名、そして『潮騒のメモリーズ』として女性２人。参加者以外には当日まで演目を秘密にしていたため、極秘プロジェクトとして『潮騒のメモリーズ』が始動しました。

なお、企画のメインは私たちではなく、ヲタ芸です。私たち２人に課せられた使命は、『潮騒のメモリーズ』になりきること。その日から「アキちゃん」と共に練習に励みました。『やるならちゃんとやろう』ということで衣装を探しましたが、意外と見つかりません。「ないなら作ってしまおう！」と数年ぶりにミシンを引っ張り出し、練習後夜中までかかりながら作成しました。試作品として自分の青い方を作成し、アキちゃんの衣装の準備をしたところで、一週間の研修がやってきました。研修センターでもメモリーズのことが気がかりでしたが、ちょうど「アキちゃん」も別件で研修センターに来ることになっていたので、研修の合間の昼休みには前日の練習状況を教えてもらい自主練に励みました。

本番の一発勝負を乗り切れるのか、本当にユイちゃんをやらせてもらってよいのか悩みながら過ごした日々でした。潮騒のメモリーズの企画を考えてくれた先輩、一緒にステージに上がるヲタ役のみんな、そしてアキちゃん。『余興』かもしれないですが、みんなで心ひとつにして取り組みました。本番は夢のようなほんの一瞬の出来事でしたが、みんなと一緒に取り組めて、そしてアイドルにさせていただけてしあわせでした！今回の本番をもって『潮騒のメモリーズ』は無期限の活動休止となりましたが、本当に素敵なメモリーになりました！

▲アキちゃんと一緒☆本番は大成功☆

適切で的確な業務を目指して

古殿町
我妻梢（あづまこずえ）
Kozue Azuma

■所属課・係
住民税務課　国民健康保険係
■主な業務（担当年数）
国民健康保険、
後期高齢者医療（10カ月）
■趣味・特技
読書、スノーボード

平成25年より住民税務課に配属されました。入庁８年目になるというのに分からないことだらけで、課のみなさんに助けられながら、日々の業務をこなすのに精いっぱいです。半年をすぎてもまだまだ学ばなくてはなりません。

国民健康保険係になってから、医療費の増加について考えさせられることが増えました。体調が悪くなってから病院に駆け込むのではなく、十分な睡眠や規則正しい生活、栄養のバランスを考えた食事で健康を心がけています。今年度は体調不良で通院をしていません。

町民のみなさんも、健診などを利用し、体のＳＯＳに早めに耳を傾け、体調の悪化を事前に防ぎ、健康で楽しい生活を送って欲しいです。仕事に遊びに体をよく動かしているからか、元気すぎて驚かされる高齢者の方もたくさんいるのですが。

健康にはスポーツが一番だと思っていますが、寒い季節になるとウインタースポーツが楽しみです。県内にはたくさんの良質なスキー場があるので、存分に満喫しました。古殿町が降雪していなくても、車で２時間も走れば雪国になってしまうので、福島県は本当に気候が多彩だと実感できます。スポーツ後の温泉を選び放題なのもまた贅沢。

しかし今年は、初めての確定申告を控えています。事前の研修などで準備は進めていますが、いざ本番を迎えてみないと実感がわかず、この１カ月は大変な時期になるでしょう。できるだけ町民のみなさんをお待たせしないよう、的確でスムーズな対応を心がけていきたいです。

確定申告期間中のウインタースポーツを減らして、春からは町のシンボルである「流鏑馬」（乗馬しながら弓矢で的を射る）を再開したいと考えています。

もっと知識を増やし、もっと仕事を手早くこなし、もっと余裕が出てくると嬉しいのですが、まだまだ上手くいきません。日々努力していきますので、今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

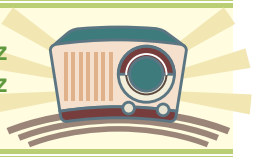
▲住民税務課のみなさんと

ラジオ放送のお知らせ

被保険者へ国保制度の認識を深めていただくことを目的に、平成26年1月30日㈭～2月28日㈮まで、ラジオ福島にて1日2回、下記のスケジュールで放送しております。

各地の周波数

福　島：1458 KHz　　郡　　山：1098 KHz
いわき：1431 KHz　　会津若松：1395 KHz
原　町：801 KHz



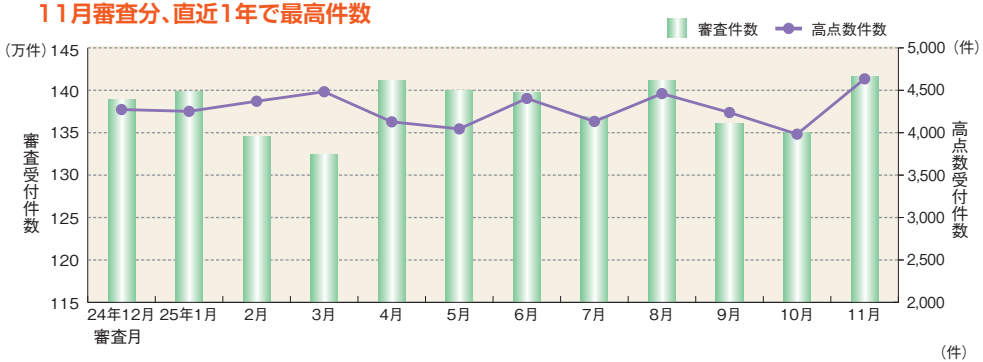
広報ラジオ放送スケジュール　2014年1月30日㈭～2月28日㈮

日付	曜日	時間		
1月30日	木	7：49	13：44	18：09
1月31日	金	8：49	12：34	16：14
2月 1日	土	7：29	10：34	14：59
2月 2日	日	8：14	12：44	16：59
2月 3日	月	12：49	17：54	
2月 4日	火	10：34	15：24	18：14
2月 5日	水	11：51	16：39	
2月 6日	木	7：49	14：29	18：24
2月 7日	金	8：49	16：14	
2月 8日	土	7：29	12：29	14：59
2月 9日	日	8：14	16：54	
2月10日	月	9：09	12：49	17：54
2月11日	火	10：34	15：24	18：09
2月12日	水	7：23	10：54	16：39
2月13日	木	7：49	13：44	
2月14日	金	8：49	12：34	16：14
2月15日	土	12：29	14：59	
2月16日	日	8：14	10：54	16：54
2月17日	月	12：49	17：54	
2月18日	火	7：59	10：34	15：24
2月19日	水	7：23	16：39	
2月20日	木	9：09	13：44	18：29
2月21日	金	12：34	16：14	
2月22日	土	7：29	14：59	
2月23日	日	8：14	16：54	
2月24日	月	7：49	12：29	16：04
2月25日	火	10：34	15：14	
2月26日	水	11：03	16：39	
2月27日	木	7：49	12：59	
2月28日	金	8：49	12：34	16：14

DATA LAND　目で見る医療費の動き

国保・後期高齢者分レセプト審査状況

11月審査分、直近1年で最高件数



（件）

審査月	24年12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
審査受付件数	1,389,182	1,399,007	1,345,098	1,324,376	1,411,455	1,399,671	1,397,935	1,369,575	1,412,042	1,360,699	1,350,444	1,417,415
高点数件数	4,273	4,252	4,371	4,483	4,128	4,045	4,404	4,133	4,461	4,238	3,983	4,635
特別審査分件数	39	17	32	22	29	26	25	29	29	27	23	33

＊1 審査受付件数は、国保・退職・後期分の医科・歯科・調剤レセプトを対象。
＊2 特別審査分：40万点以上のレセプト（歯科分のレセプトは20万点以上）。
＊3 高点数：8万点以上40万点未満のレセプト。
＊4 ＊2～3共に返戻分・調剤分のレセプトを除く。
＊5 東日本大震災による概算請求分等は含まない。

最高点数レセプト　11月審査分、後期高齢者で130万点超

平成25年10月審査分（9月診療分）

(1) 国　保

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医　科	875,018	入	24	男	40代	急性大動脈解離
歯　科	101,497	入	30	男	60代	舌癌

(2) 後期高齢者医療

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医　科	1,020,884	入	28	男	70代	胸部大動脈瘤
歯　科	111,379	入	30	男	80代	右側上顎歯肉癌

平成25年11月審査分（10月診療分）

(1) 国　保

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医　科	1,230,892	入	27	男	60代	急性大動脈解離
歯　科	112,934	入	31	男	70代	左側上顎歯肉悪性腫瘍

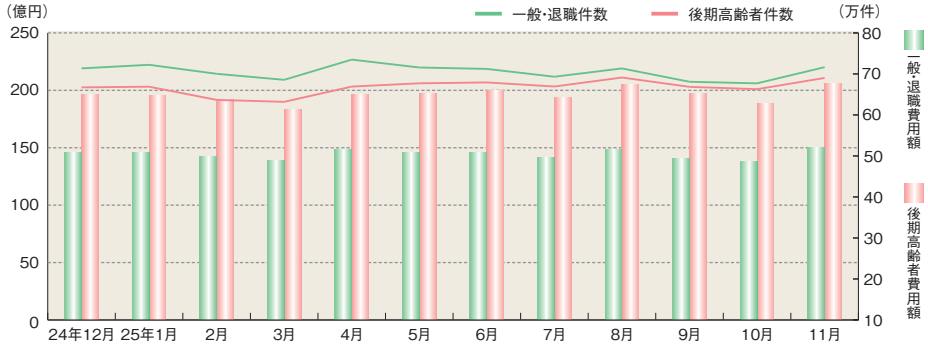
(2) 後期高齢者医療

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医　科	1,380,605	入	21	男	70代	胸部大動脈瘤
歯　科	103,589	入	24	女	80代	右側下顎歯肉悪性腫瘍

国保・退職・後期高齢者医療の動き

受付件数同様、11月審査分で費用額も直近１年で最高額

❖ 件数・費用額の動き（医科、歯科、食事・生活療養、調剤、訪看を対象。国保は県内 61 保険者の計。）



（件）

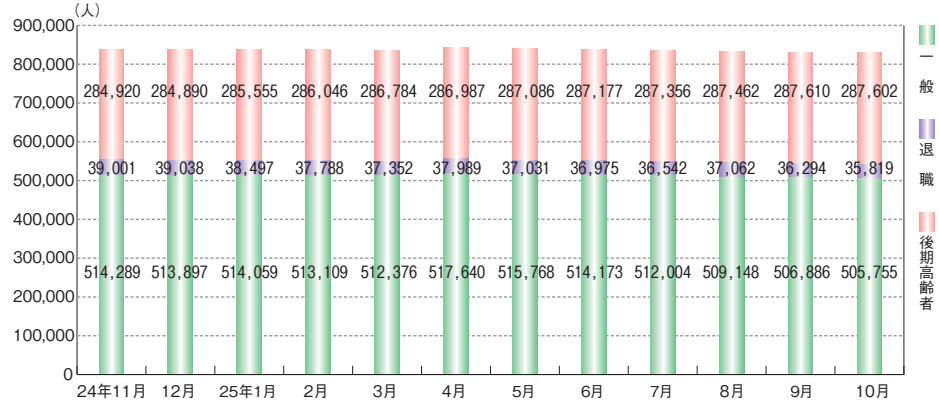
	審査月	24年12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
件数	一般退職	713,541	722,282	700,313	685,636	734,970	715,701	712,251	693,193	713,440	680,901	677,071	716,490
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後期	667,213	668,870	636,726	631,943	669,157	677,146	679,267	669,329	691,269	668,484	662,828	690,244
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,380,754	1,391,152	1,337,039	1,317,579	1,404,127	1,392,847	1,391,518	1,362,522	1,404,709	1,349,385	1,339,899	1,406,734
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（千円）

	審査月	24年12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
費用額	一般退職	14,616,125	14,560,690	14,259,837	13,868,782	14,835,778	14,582,525	14,561,236	14,115,625	14,810,682	14,062,547	13,835,210	15,003,134
		0	0	0	2,278	8,768	2,908	1,211	3,443	0	0	0	0
	後期	19,634,392	19,531,749	19,207,442	18,349,980	19,670,376	19,712,902	20,024,364	19,416,261	20,520,565	19,692,369	18,893,735	20,625,099
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	34,250,517	34,092,439	33,467,279	32,218,762	34,506,155	34,295,427	34,585,600	33,531,886	35,331,247	33,754,917	32,728,945	35,628,233
		0	0	0	2,278	8,768	2,908	1,211	3,443	0	0	0	0

＊本会の審査支払確定値より算出。
＊表内の朱書きの数値は東日本大震災による概算請求分及び保険者不明分（件数なし）を示す。別掲であり、グラフには含んでいない。

❖ 被保険者の動き（県内61保険者の計）



＊被保険者数は、福島県の「毎月事業状況報告書（月報）」による。
震災の影響等にて未提出保険者は、直近の提出月報にて集計。

地域別の医療費の動き

一般／退職の件数は全地方で対前年比下回る

平成25年 11 月審査分

ここでは、59市町村を県北、県中、県南、会津、南会津、相双、いわきの7地区に分けて医療の動向をお知らせします。

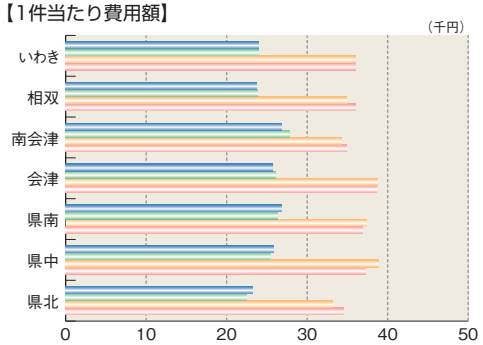
① 件数・費用額（医科、歯科、食事・生活療養、調剤、訪看）

（件/円）

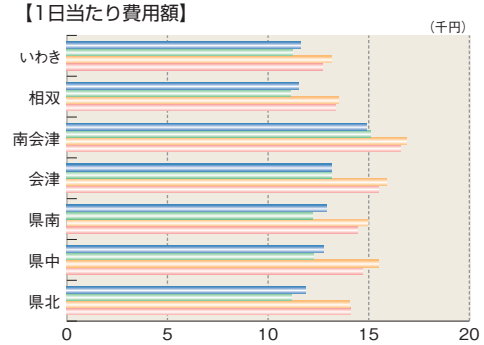
	一般／退職				後期高齢者			
	件数	対前年比	費用額	対前年比	件数	対前年比	費用額	対前年比
県北	170,301	98.16%	3,389,299,354	101.52%	178,187	101.05%	4,897,504,098	98.66%
県中	170,176	97.14%	3,742,684,228	98.80%	156,242	102.23%	4,992,242,010	106.40%
県南	43,266	95.69%	1,032,747,846	98.36%	41,277	101.95%	1,355,431,076	104.01%
会津	91,915	98.05%	1,952,563,422	97.59%	102,967	100.31%	3,212,495,980	101.05%
南会津	10,051	94.15%	241,402,912	94.14%	12,754	95.47%	384,526,612	96.70%
相双	94,430	99.52%	1,951,146,738	100.67%	70,368	101.36%	2,072,620,546	99.89%
いわき	130,756	97.90%	2,595,079,350	98.76%	128,449	101.96%	3,710,278,822	102.76%

② 諸率（医科、歯科）

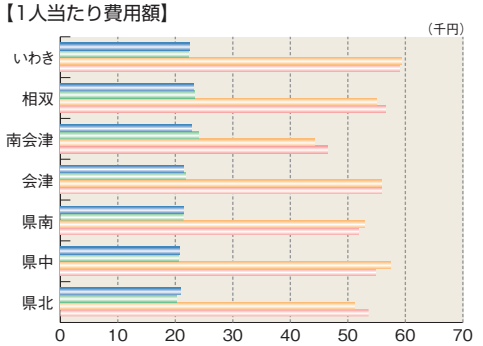
【1件当たり費用額】



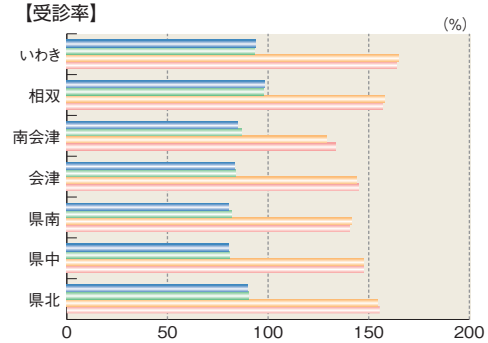
【1日当たり費用額】



【1人当たり費用額】



【受診率】



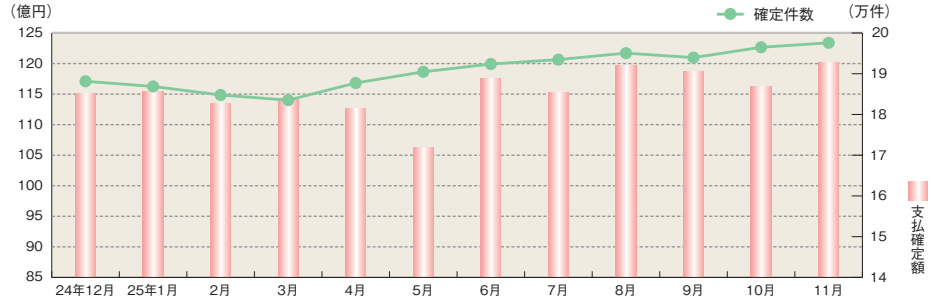
【一般/退職】25年11月審査分 【一般/退職】24年11月審査分 【後期】25年11月審査分 【後期】24年11月審査分

＊①②共に本会の審査支払確定値より算出し、東日本大震災による概算請求分等は含まない。

介　護　の　動　き

支払確定額は120億円を超える

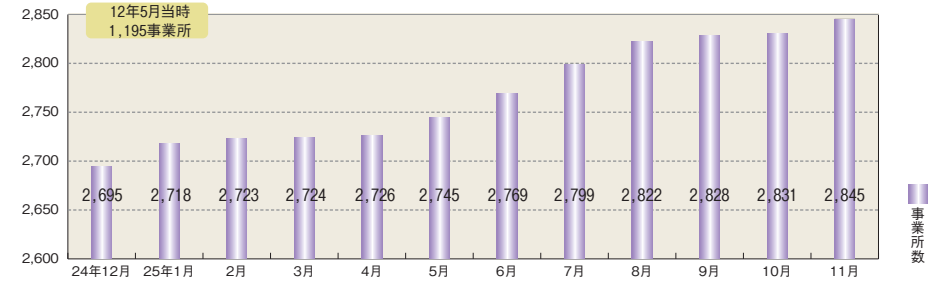
① 介護給付費支払状況



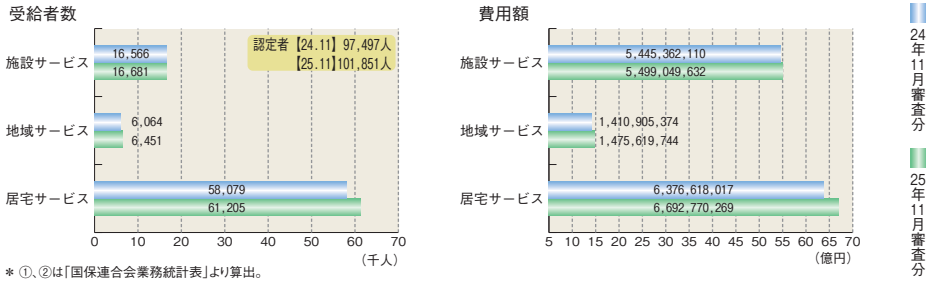
（件/千円）

審査月	12年5月	24年12月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
受付件数	63,219	192,169	191,477	189,260	187,775	191,537	194,307	197,898	197,791	200,555	198,914	200,474	201,531
確定件数	60,069	188,159	186,881	184,792	183,527	187,739	190,472	192,397	193,477	195,063	193,966	196,507	197,597
支払確定額	3,837,411	11,504,046	11,537,522	11,339,978	11,420,886	11,268,644	10,627,157	11,753,457	11,519,752	11,968,088	11,874,150	11,631,295	12,010,646

② 事業所数



③ サービス別 受給者数・費用額　（25年11月審査分 対前年同月比）



＊①、②は「国保連合会業務統計表」より算出。
＊③は「保険者別 国保連合会業務統計表（確定給付統計）」より算出。

介護 ～ 一人当たり費用額

前年同月と比べ
1人あたり平均費用額は1,860円の減少

平成25年 **11** 月審査分　（円）

	保険者名	一人当たり平均費用額	一人当たり居宅サービス費用額	一人当たり地域サービス費用額	一人当たり施設サービス費用額
1	檜枝岐村	135,500	44,485	168,021	314,140
2	三春町	148,268	107,093	303,543	284,056
3	福島市	149,307	106,302	217,310	325,141
4	柳津町	152,651	81,913	258,320	313,841
5	会津若松市	153,606	107,687	167,764	330,016
6	国見町	156,073	114,605	113,809	321,012
7	伊達市	156,263	107,968	165,855	329,287
8	いわき市	156,581	108,653	243,802	331,114
9	下郷町	157,783	96,078	267,424	330,616
10	郡山市	157,795	108,037	232,732	339,619
11	田村市	159,914	107,545	281,991	318,255
12	平田村	160,580	98,038	268,685	336,609
13	小野町	160,879	108,520	220,974	332,656
14	南会津町	161,184	100,677	176,332	316,875
15	塙町	161,313	96,793	141,386	332,817
16	広野町	162,078	91,617	239,266	324,964
17	北塩原村	162,680	85,419	273,853	319,309
18	葛尾村	162,899	119,162	226,708	307,467
19	棚倉町	164,861	100,294	202,016	329,952
20	白河市	166,100	108,302	242,986	329,337
21	須賀川市	167,280	113,728	253,012	331,095
22	玉川村	167,366	90,904	170,310	343,910
23	西会津町	167,704	111,845	285,878	309,246
24	昭和村	167,828	96,988	0	330,568
25	浪江町	168,296	107,840	241,889	342,669
26	只見町	168,985	104,804	235,354	302,863
27	石川町	169,152	105,940	309,645	331,807
28	中島村	169,705	105,506	298,828	329,353
29	猪苗代町	169,885	97,556	237,163	340,984
30	二本松市	170,791	111,065	206,524	313,884
31	鏡石町	171,601	107,298	263,442	328,323
32	大熊町	171,841	115,804	252,213	348,622
33	南相馬市	173,642	115,853	231,800	326,298
34	喜多方市	174,450	101,975	248,137	336,131
35	川内村	175,895	115,964	275,206	318,175
36	矢祭町	176,406	110,896	255,855	310,670
37	相馬市	176,427	120,599	202,453	337,040
38	会津坂下町	176,552	124,854	232,329	319,416
39	新地町	176,809	113,666	284,073	328,717
40	本宮市	177,621	114,527	219,456	311,307
41	川俣町	178,191	120,751	227,006	341,077
42	西郷村	178,412	118,888	181,962	331,316
43	矢吹町	178,731	119,955	274,482	334,934
44	富岡町	179,270	120,662	283,318	332,960
45	泉崎村	179,276	118,223	298,895	325,887
46	古殿町	179,365	108,222	479,385	330,392
47	桑折町	180,086	131,255	255,528	324,077
48	鮫川村	184,716	101,753	352,568	303,590
49	浅川町	184,961	122,309	297,728	315,314
50	磐梯町	185,480	121,850	226,152	322,941
51	会津美里町	186,504	128,187	331,582	342,198
52	楢葉町	188,744	115,365	280,679	319,574
53	飯舘村	190,612	97,377	255,743	380,016
54	双葉町	190,812	131,671	333,540	342,204
55	天栄村	191,801	121,829	293,905	340,764
56	金山町	193,787	120,071	229,299	329,788
57	大玉村	197,687	123,581	208,196	331,750
58	湯川村	215,209	108,860	362,085	472,343
59	三島町	220,001	122,061	0	330,033
	平均	172,342	109,147	242,176	329,819

＊「保険者別 国保連合会業務統計表（確定給付統計）」より算出し、東日本大震災による概算払分等は含まない。
＊一人当たり平均費用額の低い順に掲載。
＊サービス受給者一人当たりで算出。

連合会日誌

12月December

4日
●保険者協議会第１回企画調整部会：本会役員室
県内保険者協議会企画調整部会員12名が参集、オブザーバーとして福島県保健福祉部国民健康保険課主任主査　三瓶芳和氏を招き、第１回企画調整部会が開かれました。部会では７つの報告事項、４つの協議事項について慎重なる審議、いずれも承認・可決されました。

5日
●（東北協）特定健診等に関する在宅保健師等研修会：新潟県
●平成25年度福島県国保運営協議会連絡会（～6日）：福島市
市町村に設置されている国保運営協議会の代表者が一堂に会し、国保を取り巻く情勢について意見交換を行いました。また、「国保をめぐる諸情勢について」と題し、国民健康保険中央会常務理事　飯山幸雄氏が講演を行い、公立藤田総合病院長　堀川哲男氏からは「地域包括医療・ケアの現状と将来展望」をテーマに特別講演がありました。

9日
●保健事業の情報交換：田村市
医療費及び疾病の状況、特定健診・保健指導の進行状況等について情報交換しました。

12日
●再審査部会：本会大会議室
●平成25年度福島県保険者協議会研修会
保健事業の円滑、且つ効果的な推進に寄与することを目的として県内の保健師・栄養士等に対して研修会が開かれました。
本県の国保レセプト総件数の20%、医療費においても18%を心疾患が占めている現状をふまえ、本会からは福島県内における循環器疾患の動向等について情報を提供し、あづま脳神経外科病院　浅倉　司氏が「循環器疾患の現状及び治療」、公益財団法人星総合病院心臓リハビリ指導士　冨塚玲子氏が「循環器疾患患者の心臓リハビリテーション」と題し講演を行いました。

18日
●審査委員会：本会大会議室（～22日）
●歯科部会：本会役員室
●柔道整復審査委員会：本会小会議室

19日
●保健事業の情報交換：川俣町

20日
●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会小会議室
●臨時理事会：本会役員室
事務局から下記の報告事項及び議決事項の説明を行い、いずれも承認・可決されました。
【報告事項】
・報告第１号　介護保険審査支払等システム及び障害者総合支援給付支払等システムの一拠点集約化システム運用委託企業の選定に係る指名競争入札の結果について
【議決事項】
・議案第１号　介護保険審査支払等システム及び障害者総合支援給付等システムの一拠点集約化システム運用委託企業選定に係る指名競争入札の実施について

25日
●第三者求償事務相談業務：本会役員室

1月January

16日
●再審査部会：本会大会議室

22日
●審査委員会：本会大会議室（～26日）
●歯科部会：本会役員室

23日
●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会小会議室

28日
●福島県在宅保健師の会「絆」役員会

30日
●第三者行為求償事務相談業務：本会役員室

31日
●福島県国保医学部役員会：福島市
国保医学部役員が参集し、シンポジウムなど平成26年度の福島県地域医療学会の開催計画等について協議しました。本年福島県地域医療学会は８月２日㈯開催予定です。

新年のご挨拶

平成26年の新年にあたり、福島県国民健康保険団体連合会の全職員よりご挨拶を申し上げます。
私たち国保連合会職員は、国保保険者や介護保険者、関係機関とともに地域の保健・医療・福祉を守り、地域住民の皆様が安心して健康的な生活を過ごせるよう真摯に取り組んでまいります。
本年もよろしくお願い申し上げます。

連合会行事予定　2月1日~3月31日

2月 February

18日	理事会	国保会館
25日	総会	杉妻会館
27日	医療費分析モデル事業（第4回）	中町会館

3月 March

8日	福島県在宅保健師の会「絆」総会	ＡＯＺ
20日	福島県保険者協議会総会	杉妻会館

特定健康診査の状況

平成24年11月時点における特定健診等データ管理システム登録データ並びにシステム未委託保険者から提供されたデータの速報値を報告します。

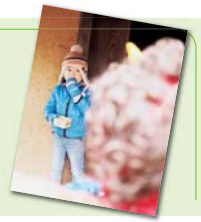
保険者名	対象者数	受診者数	受診率
全国計	22,513,746	7,593,659	33.73
県計	371,377	135,238	36.42
福島市	48,043	17,882	37.22
二本松市	10,943	4,398	40.19
郡山市	54,857	17,266	31.47
須賀川市	14,427	4,923	34.12
白河市	11,054	4,410	39.90
会津若松市	23,229	10,022	43.14
喜多方市	10,027	3,551	35.41
いわき市	61,547	14,662	23.82
相馬市	7,034	2,874	40.86
田村市	8,507	3,432	40.34
南相馬市	14,689	3,876	26.39
伊達市	12,982	5,446	41.95
本宮市	5,068	2,278	44.95
川俣町	2,873	1,132	39.40
桑折町	2,583	1,210	46.84
国見町	2,261	1,087	48.08
大玉村	1,361	631	46.36
鏡石町	2,429	1,035	42.61
天栄村	1,154	389	33.71
南会津町	3,726	1,939	52.04
下郷町	1,475	737	49.97
檜枝岐村	153	111	72.55
只見町	1,018	533	52.36
磐梯町	744	468	62.90
猪苗代町	2,927	1,755	59.96
北塩原村	741	320	43.18
西会津町	1,709	1,121	65.59
会津坂下町	3,399	1,285	37.81
湯川村	588	334	56.80
柳津町	835	570	68.26

保険者名	対象者数	受診者数	受診率
会津美里町	4,657	2,195	47.13
三島町	436	270	61.93
金山町	662	452	68.28
昭和村	394	264	67.01
棚倉町	2,666	1,066	39.98
矢祭町	1,321	674	51.02
塙町	1,957	1,027	52.48
鮫川村	808	553	68.44
西郷村	2,968	1,091	36.76
泉崎村	1,267	440	34.73
中島村	996	391	39.26
矢吹町	3,629	1,734	47.78
石川町	3,602	1,158	32.15
玉川村	1,411	715	50.67
平田村	1,451	558	38.46
浅川町	1,351	656	48.56
古殿町	1,165	451	38.71
三春町	3,477	1,285	36.96
小野町	2,292	888	38.74
広野町	1,073	431	40.17
楢葉町	1,675	636	37.97
富岡町	3,186	1,171	36.75
川内村	738	318	43.09
大熊町	2,264	986	43.55
双葉町	1,448	538	37.15
浪江町	4,984	1,862	37.36
葛尾村	378	168	44.44
新地町	1,630	997	61.17
飯舘村	1,637	884	54.00
歯科医師国保	1,891	1,387	73.35
医師国保	1,580	315	19.94

※受診率は、小数点第３位を四捨五入している。
〔計算式：受診率=受診者数÷対象者数×100〕

編集後記

●明けましておめでとうございます。と言いましても皆様のお手元に広報誌が届く頃には旧正月を過ぎ、節分、立春も終えている時期でございましょう。先日、福島市民家園で行われた豆まきに参加してきました。堂々たる鬼退治の後、歳の数を越えて豆を食す子どもたちの元気な姿に健康に過ごす秘訣をみた気がしております。ふくしまの国保も県内健康増進の一助を担えるよう頑張って参りますので、本年もどうぞよろしくお願いします。（鵜）



貸し出し機材のご案内

■平成24年度貸し出しランキング

第3位 胎児人形

●3カ月、5カ月、6カ月、8カ月、9カ月の胎児5体です。胎児の成長と発育について実際に触れ、学ぶ事ができます。

ママのお腹の中で
こんなに小さかったんだぁ

保険者さんの声

●胎児成長の様子や重さをイメージしやすく、実感がもちやすい。

第4位 チェッカー君

●足の親指と第２指でつまみを挟むだけで下肢筋力（足を上げる時に使うスネ脇の筋力）が 測定できる。
フットケアへの関心を高めることで、高齢者などの転倒予防へつなげます。

保険者さんの声

●普段計れない足指力が数値化でき、興味をもたれる方が多かった。

お申し込み お問い合わせ

まずは、お電話で予約状況を確認していただき、本会ホームページの保険者専用ページ内、“教育広報用機材の貸し出し”より「予約申込書」をダウンロードし、FAXにてお申し込み下さい。
また、FAX送信後は確認のお電話をお願いいたします。

事業振興課　保健事業係　☎024(523)2754／FAX024(523)2704
ホームページ　http://www.fukushima-kokuho.jp/

vol.05

健康な食彩

伝統的な食文化を大切に

我が家の元旦はささやかなおせちとお雑煮です。お雑煮は焼いた角餅、鶏肉、しいたけ、人参、みつばを椀に盛り、しょうゆ仕立ての汁をはり、ゆずを添えます。ハレの日らしく器も変えて食卓を整えると、新年を迎える厳粛な気持ちになります。

「料理は目で食べる」と言われるように、日本人は彩りや盛りつけを大切にしてきました。人は色を見て、食べて良いのか否かの判断をし、鮮度や火のとおり具合や味わいを判断します。美しい彩りや盛りつけは、日本人としての美的感覚だけでなく食欲も満足させてくれます。栄養的価値も見た目で判断できれば健康に食べることは容易いのですが、残念ながらできません。一方、人参の色がβ－カロテンであるように、食べものの色が栄養素特有の色であることも多く、色を損ねないように調理すれば栄養素の損失も抑えられます。多種類の色が調和した食事は自ずと栄養バランスも良くなるのです。彩りの美しさを大切にする日本人の食べ方は健康に食べる知恵でもあったのですね。折しも「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。誇らしく思うと同時に、日本人の伝統的な食文化を大切に継承していこうと、気を引き締めています。

会津大学短期大学部食物栄養学科　鈴木　秀子